

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年2月10日

事業所名: 放課後等デイサービス あいうえおん

対象人数(保護者)38人 回答者数 37人 回収 97.4%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3		1	人数に対して狭いと思います。運動できるスペースがもう少しあればなと思います。	室内は国の設備基準以上の広さを確保しています。年齢や体の大きさ等により狭く感じることもあるため、日々安全に考慮したプログラム充実に努めています。活動プログラムは18時終了となっていますので、速やかな引き渡しができるよう努めてまいります。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1		2		国の基準である指導員2名に加え、加算要件を満たす人員配置を行っています。また、専門的支援を実施するため、専門性を備えた人員配置を行っています。引き続き、児童分野での経験と専門性を備えた人員配置に努め、研修の受講等、職員の資質の向上に努めてまいります。
	③	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	3		1		全室バリアフリー設計となっています。その日の通所予定のお子様名札を机に貼り、自分の席がわかるようにしています。また、その日の予定はホワイトボードや各自の予定表で確認できるようにすることで、見通しを持ち活動に参加できるようにしています。お子様が安心して過ごせるような環境設定に努めてまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1			トイレきれいです	毎日、支援終了後に清掃を行い、机や椅子等の消毒を行っています。活動スペースは主に1か所ですが、多目的に使用できるようにしています。また、クールダウンが必要な際には個室を利用できるようにしています。引き続き、お子様が心地よく過ごすことができるよう努めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31				本人の特性を理解していただき、適切に対応していただいていると感じます。	理学療法士、保育士、教員等、様々な専門性を備えたスタッフ配置を行っています。個々の発達段階や特性、ニーズを職員が共通理解をし、個別支援計画書や専門的支援実施計画書に沿った発達の連続性を踏まえた関わりに努めています。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31					ガイドライン『放課後等デイサービスの内容』に即した支援内容や支援プログラムを作成、実施しています。HPやInstagramにてプログラム内容を公開しています。
	⑦	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	31					学習の様子や活動場面の観察、発達検査の報告などを通じて子どもの成長を把握し、保護者さんとの面談を通じてうかがったニーズを含め、計画書を作成しています。
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	30			1		放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、放課後等デイサービスガイドラインに示されている「本人支援」「家族支援」「移行支援」の各視点を踏まえ、子ども一人ひとりの発達状況や課題、強みを整理した上で、必要な支援項目を適切に設定しています。今後も、保護者の皆様のご意見を踏まえながら、支援内容の充実と分かりやすい計画作成に取り組んでまいります。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31					個別支援計画については、職員間で内容を共有し、日々の支援の中で計画に基づいた関わりが行えるよう努めています。 今後も計画と実際の支援が一致した質の高い支援を継続してまいります。
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1			プログラムはよく考えられ、工夫されています。本人がやり方を理解するのに手助けが必要な時も支援していただいていると思います。 色々やっていただいて助かっています。	活動プログラムについては、子どもの興味・関心や発達段階、季節性などを踏まえ、内容が固定化されないよう工夫して実施しています。 今後も、職員間で活動内容の検討や見直しを行いながら、多様な経験につながるプログラムの充実に努めてまいります。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	5	3	12		放課後児童クラブや児童館等との交流については、時間的な制約や利用状況の違い等から、現時点では十分な機会を設けることができていません。今後は、保護者のニーズを確認しながら、交流の形や方法、こどもたちが地域とのつながりを感じられるような取り組みを検討していきたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31					利用開始時に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明を行い、不明点がないか確認しながら進めています。 今後も、保護者の皆様が疑問や不安を感じた際に、いつでも相談しやすい体制づくりを継続してまいります。
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31					放課後等デイサービス計画をもとに、支援内容や目標について説明を行い、理解を得た上で支援を実施しています。 今後も、モニタリングや計画の見直しの際には、計画内容を示しながら説明を行い、連携を大切にしてまいります。
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	1		7		家族支援プログラムや研修会の実施については、時間や運営体制の都合により、継続的な実施が難しい状況です。 今後は、個別面談や連絡の機会を通じて、子育てに役立つ情報提供や助言を行うなど、できる形での家族支援に取り組んでいきます。
	⑮	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	31					日常的な情報共有を通じて、子どもの健康面や発達の状況について、保護者の皆様と共通理解を図るよう努めています。 引き続き、子どもの小さな変化も共有しながら、安心してご利用いただける関係づくりを大切にしてまいります。
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31					定期的な面談に加え、必要に応じて子育てに関する助言や支援を行っています。 今後も、保護者の状況に応じた柔軟な支援を心がけてまいります。
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31					事業所の職員は、子どもの気持ちや状況に寄り添い、共感的な関わりを心がけて支援を行っています。 今後も、子ども一人ひとりの思いを受け止める支援を継続し、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているのか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	5	1	7	家族会とかあってもいいと思います。	保護者会や保護者参観を通じて保護者同士の交流や情報共有の場を設けています。 父母の会活動や保護者会等に対し、可能な範囲で支援・協力をを行い、保護者同士の交流機会の確保に努めてまいります。きょうだいへの支援については、現状では交流機会が限定的であるため、今後の実施可能性やニーズを検討し、支援の充実を図っていきたいと思います。
	⑲	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			2		相談や申入れに関する体制について、今後も分かりやすい説明と丁寧な周知に努めてまいります。保護者が安心して相談できるよう、日常的なコミュニケーションを大切にし、迅速かつ適切な対応を行ってまいります。
	⑳	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1				子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達について、今後も一人ひとりに応じた丁寧な関わりを大切にしていきます。 サービス提供記録や口頭でのやり取りを通して、分かりやすく伝える工夫を行い、安心して利用していただけるよう努めてまいります。
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31				定期的にお便りをいただき、拝読しています。活動内容がわかりやすいです。	通信やホームページ、SNS等を活用し、活動の様子や行事予定、連絡体制等について継続して情報発信を行っていきます。今後も、子どもや保護者に分かりやすく、安心して利用していただける情報提供に努めています。
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1		1		個人情報の取扱いについては、引き続き関係法令や事業所内のルールに基づき、適切な管理と取扱いに努めています。 職員間での共通理解を図り、子どもや保護者が安心して利用できる環境づくりを継続していきます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	1		2		各種マニュアルについては、玄関に常時設置し、保護者がいつでも確認できるようになっています。また、事故や災害、感染症等の発生を想定した訓練を年2回実施しています。感染症予防週間や避難訓練週間を設け、訓練だけでなく、こどもたちにも分かりやすく伝える時間を大切にしながら、安全意識の向上に努めています。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1		2		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等を実施し、こどもと職員が落ち着いて行動できるよう確認を行っています。また、職員は緊急時の救命処置等に関する講習を受講し、万が一の際にも適切に対応できるよう備えています。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2		1		こどもの安全を確保するため、毎年安全計画を策定し、その計画に沿って職員研修や各種訓練を実施しています。また、研修や訓練の様子については、SNS等を通して発信し、保護者にも分かりやすく伝えるよう努めています。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30			1		重大な事故は発生していませんが、万が一に備え、連絡体制や報告手順を整備し、速やかな連絡と状況説明が行える体制を維持しています。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	1				こどもが安心して通所できるよう、日々の関わりや環境整備を大切にしています。個々の状況や気持ちに寄り添い、信頼関係を築きながら、安心して過ごせる居場所づくりを継続していきます。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	2		1	最初のころは慣れるのに大変だったと思います。今は慣れてきて、楽しむ余裕も少しずつでてきたように見受けられます。 楽しく活動できています。	こどもが通所を楽しみにできるよう、活動内容や環境を工夫し、興味・関心に応じた支援を行っています。今後も、こどもが安心して参加できる雰囲気づくりや、達成感を感じられる支援を継続していきます。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	31				とても助かっています。 これからもよろしくお願いします。	保護者の皆さまからのご理解とご協力に支えられ、日々の支援を継続することができます。今後も、こども一人ひとりの状況やニーズに寄り添い、安心して利用していただける支援を提供できるよう努めています。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。